

「こどもを守るネットワーク」事業 こどもネットニュース



VOL. 207

「アンダーパス」に注意！～大雨による車の水没事故～

今年は 8 月から 9 月にかけて、局地的な「ゲリラ豪雨」や「線状降水帯」による激しい大雨が相次いで発生しました。大雨の際に特に危険が高まるのが、線路や他の道路の下をくぐる「アンダーパス」での車両水没事故です。アンダーパスは周囲より路面が低くなっているため、短時間の猛烈な雨で一気に雨水が流れ込み、わずか数分でプールのように冠水してしまう恐れがあります。

豪雨の際は安全のためにも自宅にいるのが一番ですが、子どもの習い事や園・学校の送迎などで車移動が必要な場面もあります。危険を感じた場合は無理に進まず手前で迂回し安全を最優先に行動しましょう。

東京都内のアンダーパス等は 153 カ所

国土交通省の「道路冠水注意箇所」によると、東京都内にはこうした注意箇所が 153 カ所あり、多摩地域にはそのうち 54 カ所が存在します。特に多摩地域では、八王子市（12 カ所）、府中市（9 カ所）、日野市（7 カ所）などに集中しており、身近な幹線道路や市道にも危険箇所が多く存在します。

もし乗っている車が水に入って動かなくなったら？

下図（2 枚）：国土交通省「水深が床面を超えたら、もう危険！」

万が一、車が水に入り動かなくなってしまった場合は、一刻も早い脱出が必要です。

1. 水位が低いうちに窓から脱出する

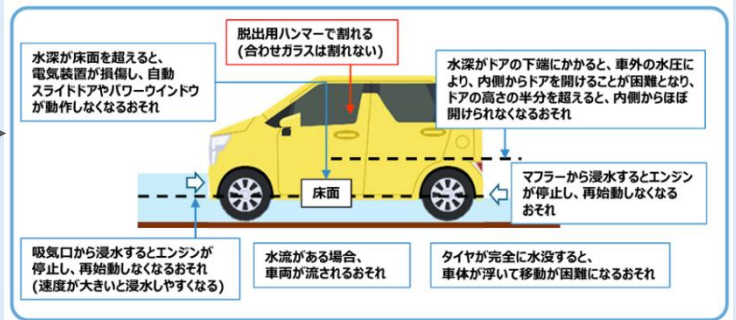
車の床面以上になると、外からの水圧でドアを開けることが難しくなります。電気系統が故障する前に窓を開け、急いで脱出しましょう。

2. 緊急脱出用ハンマーの備えと使い方

ドアが開かない場合は脱出用ハンマーで窓を割ります。窓の真ん中は割れにくいので、「窓の隅」を叩くのがポイントです。（フロントガラスは頑丈な構造のため割れません）

※シートベルトが外れないときは？： 車内に水が入ると水圧や体の傾きでベルトが強く引っ張られ、バックルのボタンが固くて押せなくなることがあります。脱出用ハンマーに付いている「シートベルトカッター」で素早くベルトを切り離しましょう。

最後に、水がたまっている道路は、見た目よりもずっと深くなっていることがあります。「少しの水だから大丈夫」と思わず、大雨のときはアンダーパスを通らない別の道を選ぶようにしましょう。



「こどもを守るネットワーク」事務局

〒190-0012 立川市曙町 2-15-20-5F 連合三多摩ブロック地協内

TEL 042-529-5550

FAX 042-529-5552